

野村JPMグローバルセレクト株式 Aコース／Bコース (野村SMA・EW向け)

運用報告書(全体版)

第2期(決算日2025年12月8日)

作成対象期間(2025年6月7日～2025年12月8日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2025年2月21日以降、無期限とします。	
運用方針	野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、世界各国(新興国を含む)の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、実質的に保有する外国投資信託に対しては、外国投資信託のベンチマークの通貨配分をベースに為替ヘッジ(先進主要国通貨等による代替ヘッジを含みます。)を行なうなど為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	野村JPMグローバルセレクト株式 Aコース/Bコース (野村SMA・EW向け) マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 米ドル建ての外国投資信託であるJPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF受益証券を主要投資対象とします。なお、世界各国の株式等に投資する場合があります。
主な投資制限	野村JPMグローバルセレクト株式 Aコース/Bコース (野村SMA・EW向け) マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 (受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 込 分	込 配 金	期 騰 落 率		
(設定日)	円		円		%	百万円
2025年2月21日	10,000		—		—	9
1期(2025年6月6日)	9,919		0	△0.8	97.7	16
2期(2025年12月8日)	10,758		5	8.5	96.9	23

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

* 値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
(期 首)	円		%	%
2025年6月6日	9,919		—	97.7
6月末	10,269		3.5	97.1
7月末	10,444		5.3	98.0
8月末	10,645		7.3	97.3
9月末	10,732		8.2	97.5
10月末	10,852		9.4	98.2
11月末	10,742		8.3	95.1
(期 末)				
2025年12月8日	10,763		8.5	96.9

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

<Bコース>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		税金 分	込 配	み 金 期 騰 落		
(設定日)	円		円		%	百万円
2025年2月21日	10,000		—		—	1
1期(2025年6月6日)	9,371		0	△ 6.3	97.7	15
2期(2025年12月8日)	10,976		5	17.2	97.8	54

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

* 値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価額	騰 落 率	投資信託 組入比率
(期首)	円	%	%
2025年6月6日	9,371	—	97.7
6月末	9,785	4.4	97.9
7月末	10,249	9.4	97.7
8月末	10,303	9.9	97.8
9月末	10,533	12.4	98.0
10月末	10,969	17.1	97.6
11月末	11,030	17.7	95.4
(期末)			
2025年12月8日	10,981	17.2	97.8

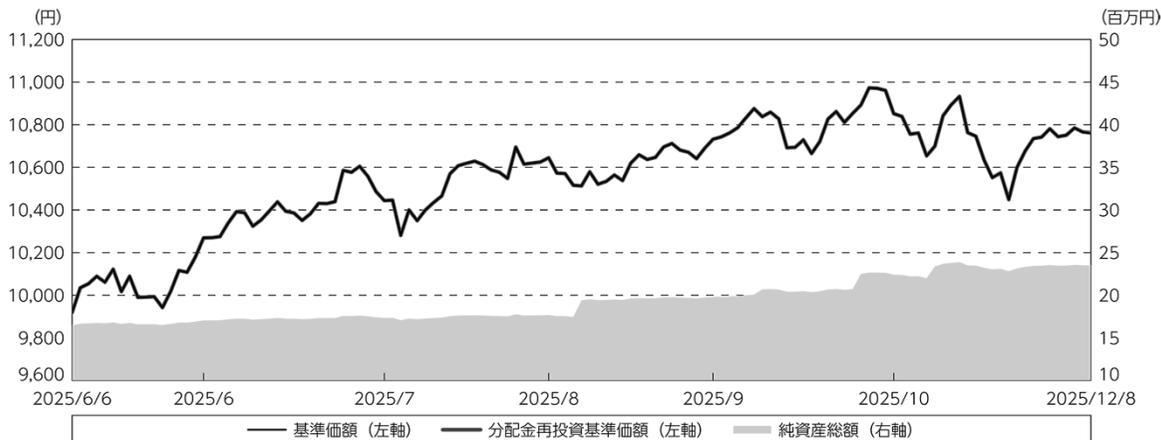
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,919円

期 末：10,758円（既払分配金（税込み）：5円）

騰落率： 8.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2025年6月6日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- ・ 実質的に投資している世界各国（新興国を含む）の株式からのキャピタルゲインまたはキャピタルロス（価格変動損益）
- ・ 実質的に投資している世界各国（新興国を含む）の株式からのインカムゲイン（配当収入）
- ・ 為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）

<Aコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきました。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第2期
	2025年6月7日～ 2025年12月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.046%
当期の収益	5
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	777

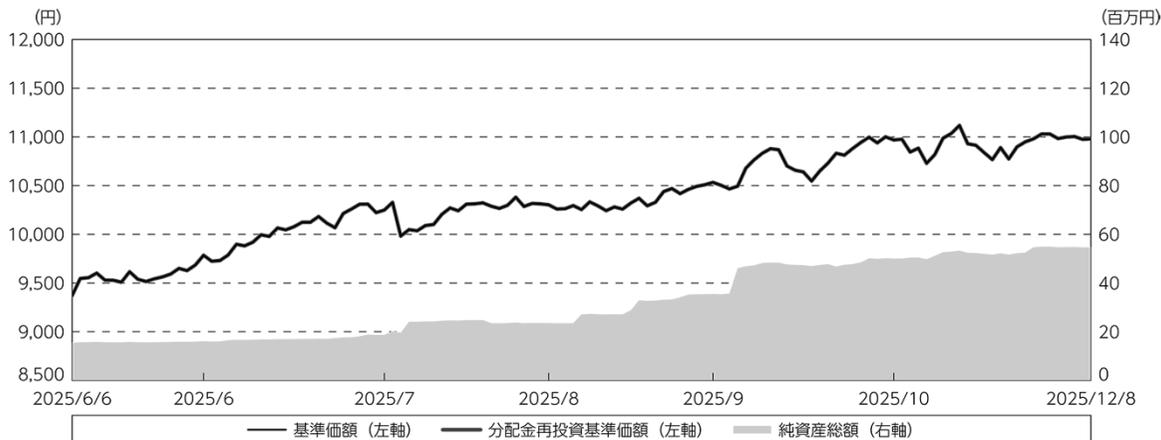
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,371円

期 末：10,976円（既払分配金（税込み）：5円）

騰落率：17.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2025年6月6日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- ・実質的に投資している世界各国（新興国を含む）の株式からのキャピタルゲインまたはキャピタルロス（価格変動損益）
- ・実質的に投資している世界各国（新興国を含む）の株式からのインカムゲイン（配当収入）
- ・実質的に保有する外貨建資産の当該通貨と円の為替変動

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第2期
	2025年6月7日～ 2025年12月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.046%
当期の収益	5
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,220

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース／Bコース>

○投資環境

世界の株式市場は当作成期間では上昇しました。

トランプ米大統領の関税政策に対する懸念が後退したことや各種経済指標の動向、米政策金利引き下げなどが好感され、当作成期間を通じて上昇基調で推移しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村JPMグローバルセレクト株式 Aコース（野村SMA・EW向け）] および [野村JPMグローバルセレクト株式 Bコース（野村SMA・EW向け）] は、主要投資対象である [野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

[JPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF] 受益証券を主要投資対象とし、投資比率を概ね高位に維持しました。

[野村JPMグローバルセレクト株式 Aコース（野村SMA・EW向け）]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村JPMグローバルセレクト株式 Bコース（野村SMA・EW向け）]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド]

- ・ [JPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF] 受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、投資制限または投資対象とする外国投資信託の保有制限に従うため、組入比率を引き下げる場合があります。
- ・ 投資制限に基づく調整のため [JPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF] 受益証券の実質組入比率を引き下げた場合に世界各国の株式の値動きを概ね捉える目的で、株価指数先物取引等のデリバティブ取引をヘッジ目的外の利用も含め実質的に活用する場合があります。

[野村JPMグローバルセレクト株式 Aコース（野村SMA・EW向け）]

[野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド] 受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

[野村JPMグローバルセレクト株式 Bコース（野村SMA・EW向け）]

[野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド] 受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

<Aコース>

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年6月7日～2025年12月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 15	% 0.139	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(12)	(0.112)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(2)	(0.017)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.011)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.018	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(2)	(0.018)	
(c) そ の 他 費 用	6	0.056	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.055)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	23	0.213	
期中の平均基準価額は、10,614円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

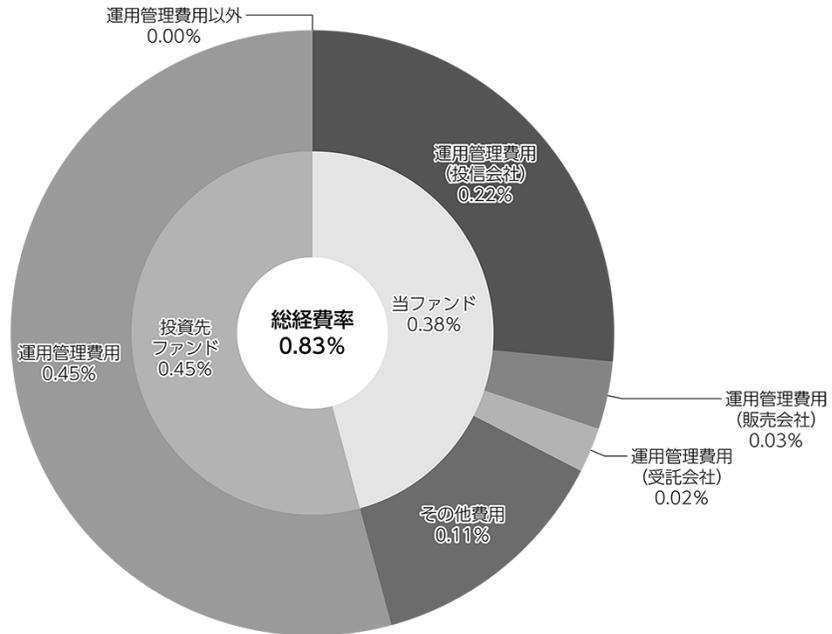
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.83%です。



(単位: %)

総経費率①+②+③	0.83
①当ファンドの費用の比率	0.38
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
 (注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。
 (注) 各比率は、年率換算した値です。
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組み入れている投資信託証券等です。
 (注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。
 (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。
 (注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2025年6月7日～2025年12月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド	千口 5,146	千円 5,664	千口 1,787	千円 1,927

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月7日～2025年12月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2025年6月7日～2025年12月8日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 9	百万円 -	百万円 -	百万円 9	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2025年12月8日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド	千口 16,836	千口 20,194	千円 23,064

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

＜Aコース＞

○投資信託財産の構成

(2025年12月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド	23,064	98.0
コール・ローン等、その他	469	2.0
投資信託財産総額	23,533	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(76,431千円)の投資信託財産総額(77,211千円)に対する比率は99.0%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.24円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年12月8日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	42,592,134
コール・ローン等	231,035
野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド(評価額)	23,064,008
未収入金	19,297,088
未収利息	3
(B) 負債	19,096,537
未払金	19,058,479
未払収益分配金	10,919
未払信託報酬	26,879
その他未払費用	260
(C) 純資産総額(A-B)	23,495,597
元本	21,839,843
次期繰越損益金	1,655,754
(D) 受益権総口数	21,839,843口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,758円

(注) 期首元本額は16,602,361円、期中追加設定元本額は5,350,753円、期中一部解約元本額は113,271円、1口当たり純資産額は1.0758円です。

○損益の状況 (2025年6月7日~2025年12月8日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	716
受取利息	716
(B) 有価証券売買損益	1,458,095
売買益	3,364,243
売買損	△1,906,148
(C) 信託報酬等	△ 27,139
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,431,672
(E) 前期繰越損益金	209,289
(F) 追加信託差損益金	25,712
(配当等相当額)	(68,125)
(売買損益相当額)	(△ 42,413)
(G) 計(D+E+F)	1,666,673
(H) 収益分配金	△ 10,919
次期繰越損益金(G+H)	1,655,754
追加信託差損益金	25,712
(配当等相当額)	(68,268)
(売買損益相当額)	(△ 42,556)
分配準備積立金	1,630,042

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Aコース>

(注) 分配金の計算過程（2025年6月7日～2025年12月8日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2025年6月7日～ 2025年12月8日
a. 配当等収益(経費控除後)	3,153円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,428,519円
c. 信託約款に定める収益調整金	68,268円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	209,289円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,709,229円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	782円
g. 分配金	10,919円
h. 分配金(1万円当たり)	5円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	5円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年6月7日～2025年12月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 15	% 0.139	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(12)	(0.112)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(2)	(0.017)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.011)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.020	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(2)	(0.020)	
(c) そ の 他 費 用	6	0.055	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.053)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	23	0.214	
期中の平均基準価額は、10,478円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

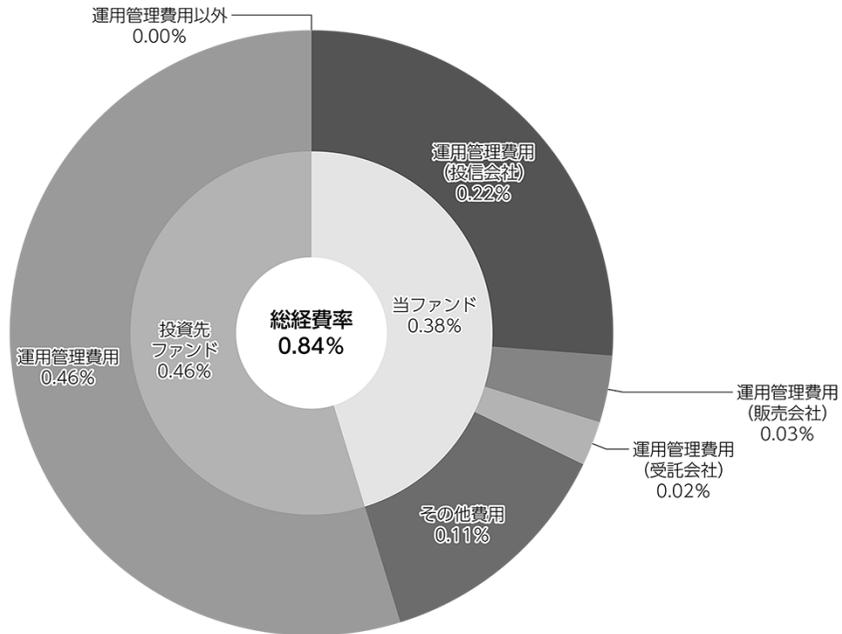
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.84%です。



(単位: %)

総経費率①+②+③	0.84
①当ファンドの費用の比率	0.38
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
 (注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。
 (注) 各比率は、年率換算した値です。
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組み入れている投資信託証券等です。
 (注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。
 (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。
 (注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2025年6月7日～2025年12月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド	千口 34,689	千円 37,612	千口 3,038	千円 3,305

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月7日～2025年12月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2025年6月7日～2025年12月8日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2025年12月8日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド	千口 15,758	千口 47,409	千円 54,146

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Bコース>

○投資信託財産の構成

(2025年12月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド	54,146	98.9
コール・ローン等、その他	583	1.1
投資信託財産総額	54,729	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(76,431千円)の投資信託財産総額(77,211千円)に対する比率は99.0%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.24円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年12月8日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	54,729,824
コール・ローン等	583,268
野村JPMグローバルセレクト株式マザーファンド(評価額)	54,146,549
未収利息	7
(B) 負債	70,301
未払収益分配金	24,898
未払信託報酬	44,922
その他未払費用	481
(C) 純資産総額(A-B)	54,659,523
元本	49,796,962
次期繰越損益金	4,862,561
(D) 受益権総口数	49,796,962口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,976円

(注) 期首元本額は16,443,728円、期中追加設定元本額は36,928,752円、期中一部解約元本額は3,575,518円、1口当たり純資産額は1.0976円です。

○損益の状況 (2025年6月7日~2025年12月8日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	794
受取利息	794
(B) 有価証券売買損益	4,329,378
売買益	4,577,354
売買損	△ 247,976
(C) 信託報酬等	△ 45,403
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,284,769
(E) 前期繰越損益金	530,939
(F) 追加信託差損益金	71,751
(配当等相当額)	(1,284,820)
(売買損益相当額)	(△1,213,069)
(G) 計(D+E+F)	4,887,459
(H) 収益分配金	△ 24,898
次期繰越損益金(G+H)	4,862,561
追加信託差損益金	71,751
(配当等相当額)	(1,285,798)
(売買損益相当額)	(△1,214,047)
分配準備積立金	4,790,810

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程（2025年6月7日～2025年12月8日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2025年6月7日～ 2025年12月8日
a. 配当等収益(経費控除後)	5,224円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	4,279,545円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,285,798円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	530,939円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	6,101,506円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	1,225円
g. 分配金	24,898円
h. 分配金(1万円当たり)	5円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	5円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村JPMグローバルセレクト株式 マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日2025年12月8日）

作成対象期間（2025年2月21日～2025年12月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米ドル建ての外国投資信託であるJPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	米ドル建ての外国投資信託であるJPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF受益証券を主要投資対象とします。なお、世界各国の株式等に投資する場合があります。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率	純資産額
	円	騰落率				
(設定日) 2025年2月21日	10,000	—	—	—	—	百万円 9
1期(2025年12月8日)	11,421	14.2	—	—	98.7	77

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

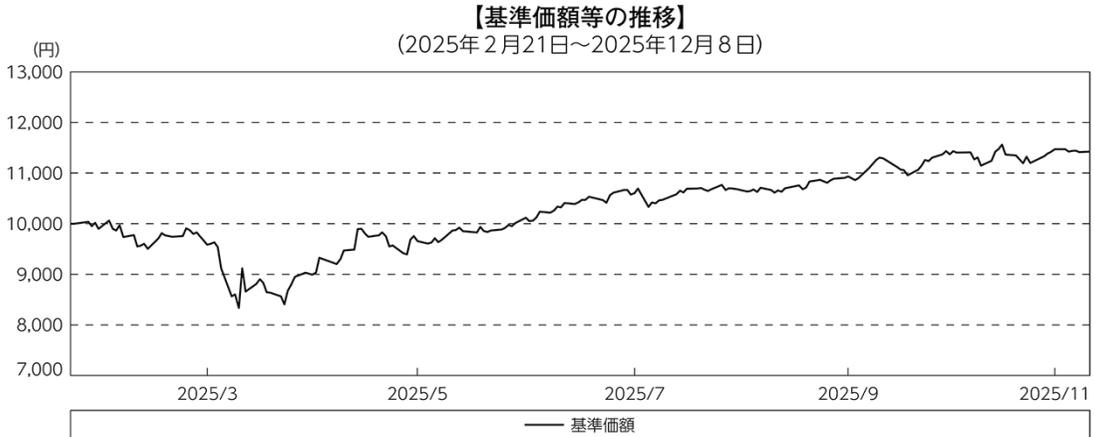
年月日	基準価額		株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率
	円	騰落率			
(設定日) 2025年2月21日	10,000	—	—	—	—
2月末	9,897	△ 1.0	—	—	97.5
3月末	9,581	△ 4.2	—	—	95.2
4月末	8,993	△10.1	—	—	98.8
5月末	9,653	△ 3.5	—	—	95.8
6月末	10,116	1.2	—	—	99.0
7月末	10,604	6.0	—	—	98.7
8月末	10,684	6.8	—	—	98.9
9月末	10,930	9.3	—	—	99.0
10月末	11,402	14.0	—	—	98.6
11月末	11,471	14.7	—	—	96.3
(期末) 2025年12月8日	11,421	14.2	—	—	98.7

*騰落率は設定日比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

- ・実質的に投資している世界各国（新興国を含む）の株式からのキャピタルゲインまたはキャピタルロス（価格変動損益）
- ・実質的に投資している株式からのインカムゲイン（配当収入）
- ・実質的に保有する外貨建資産の当該通貨と円の為替変動

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

[JPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF] 受益証券を主要投資対象とし、投資比率を概ね高位に維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

◎今後の運用方針

[JPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF] 受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、投資制限または投資対象とする外国投資信託の保有制限に従うため、組入比率を引き下げることがあります。

投資制限に基づく調整のため [JPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF] 受益証券の実質組入比率を引き下げた場合に世界各国の株式の値動きを概ね捉える目的で、株価指数先物取引等のデリバティブ取引をヘッジ目的外の利用も含め実質的に活用する場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2025年2月21日～2025年12月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 4 (4)	% 0.040 (0.040)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	11 (9) (2)	0.108 (0.087) (0.021)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	15	0.148	
期中の平均基準価額は、10,333円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月21日～2025年12月8日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	JPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF	7,473	476	244	16

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月21日～2025年12月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年12月8日現在)

外国投資信託証券

銘柄		口数	当期末		比率
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%	
	JPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF	7,229	491	76,233	98.7
合計	口数・金額	7,229	491	76,233	
	銘柄数 < 比率 >	1	—	< 98.7% >	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*金額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年12月8日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 76,233	% 98.7
コール・ローン等、その他	978	1.3
投資信託財産総額	77,211	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産（76,431千円）の投資信託財産総額（77,211千円）に対する比率は99.0%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.24円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年12月8日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	77,211,740
コール・ローン等	978,649
投資信託受益証券(評価額)	76,233,081
未収利息	10
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	77,211,740
元本	67,604,026
次期繰越損益金	9,607,714
(D) 受益権総口数	67,604,026口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,421円

(注) 期首元本額は9,898,000円、期中追加設定元本額は63,171,380円、期中一部解約元本額は5,465,354円、1口当たり純資産額は1.1421円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村JPMグローバルセレクト株式 Bコース(野村SMA・EW向け) 47,409,640円
 ・野村JPMグローバルセレクト株式 Aコース(野村SMA・EW向け) 20,194,386円

○損益の状況 (2025年2月21日～2025年12月8日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	8,425
受取利息	8,425
(B) 有価証券売買損益	8,246,503
売買益	8,246,503
(C) 保管費用等	△ 40,188
(D) 当期損益金(A+B+C)	8,214,740
(E) 追加信託差損益金	1,771,620
(F) 解約差損益金	△ 378,646
(G) 計(D+E+F)	9,607,714
次期繰越損益金(G)	9,607,714

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日：2025年4月1日>